



一切の妥協を許さず、
チームワークで高精度の切断を実現する。

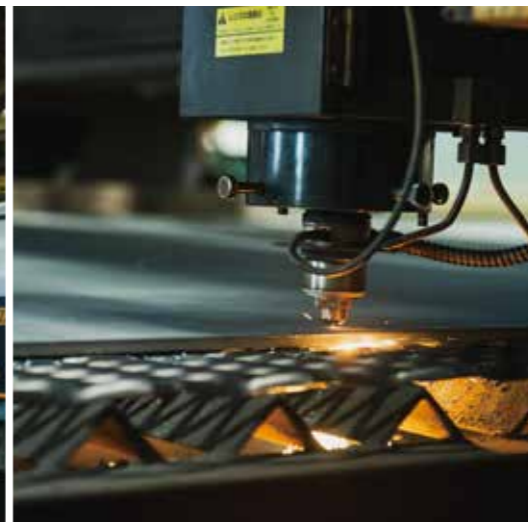
有限会社松尾溶断所



有限会社松尾溶断所

長崎県長崎市神ノ島町1丁目367-34
TEL/095-865-1068
FAX/095-865-1069
MAIL/m.youdan@estate.ocn.ne.jp

代表取締役/松尾雄一
設立/1967年10月2日
業種/鉄鋼業(鋼板加工業)
従業員数/10名



精密レーザー加工(プラズマ切断、ガス溶接、プレス曲げ加工)をはじめ、一般鋼材販売、各種製缶・組立工事請負などを行う。強みは前身の切断機の修理で培った機械構造を熟知したノウハウと、現場・設計をまたいだ加工ミーティングの積み重ねや膨大な量の試切により、素材・切断環境・板厚などに応じて切断機に入力する何百種類もの「切断条件」の蓄積。切断機メーカーの想定する能力を上回る加工を実現している。

事業のテーマ

ファイバーレーザー切断機導入による金属切板加工の受注拡大と生産性向上

事業のきっかけ

切断加工の精度に対する市場ニーズは機械設備の発展に伴って、品質要求が年々高まっており、当社でもレーザー切断機による切断処理が生産高の7割を占めている。しかし既存の設備(レーザー切断機2台、ガス切断機2台)では対応しきれない現状があった。しかもガス切断機による厚板の切断では、切断後の二次加工に時間を取られていた。また既存の設備では銅、真鍮、アルミなどには対応できず、外注していた。

事業内容・成果

厚板はガス切断機で切断できるものの、時間がかかる上に2mmの誤差が出るなど、精度も決して高いとは言えなかった。今回導入した「ファイバーレーザー切断機」は、作業時間の短縮はもちろん、誤差が0.5mmとなり、精度が格段上がった。またこれまで厚さ19mmまでしか切れなかったが、32mmの厚板まで対応が可能になり、受注の幅が広がった。外注に出していた銅、真鍮、アルミなども自社で切断できるようになり、コスト面でも大幅な削減につながった。

今後の展望

今後は売上の43%を占める大手造船会社が5年にわたる造船受注を確保していることから、仕事が増える見込みが立っている。これからも当社のモットーである「他社が切れないものを切り、他社が断る仕事を引き受ける」という精神を大切にしながら、今後もお客様に満足していただけるような製品を追求していきたい。

ものづくり補助金活用

